

感染制御部



感染制御部長
奥野 博

専門医資格等
日本泌尿器科学会専門医・指導医
京都大学臨床教授
関西医科大学臨床教授
日本生殖医学会評議員
日本アンドロロジー学会評議員
日本癌治療認定医
日本移植学会腎移植認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本泌尿器内視鏡学会・腹腔鏡技術認定医
京都大学医学博士

専門分野
泌尿器科一般
得意疾患
前立腺がん
男性学
尿路感染症



副部長
(専任)
ICTリーダー
小田垣孝雄

専門医資格等
ICD:Infection Control Doctor
日本内科学会総合内科専門医/指導医
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医/指導医
日本医師会認定産業医

専門分野
内科一般、感染制御
得意疾患
一般内科疾患

□ スタッフ

平成28年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	畑 啓昭	ICD:Infection control doctor 日本外科学会 外科専門医・指導医 日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医 日本外科感染症学会 周術期感染管理認定医・教育医・評議員・教育委員 日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医 日本食道学会 食道科認定医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医	上部消化管 外科感染症	胃がん 食道がん
医師 (非常勤)	遠藤 文司	ICD:Infection control doctor 日本内科学会 認定内科医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・学会本部学術評議員・近畿支部評議員 日本肝臓学会 肝臓専門医 日本消化器がん検診学会 認定医(胃・肝胆膵) 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医・指導医 日本医師会 認定産業医 臨床研修指導医 難病指定医 大阪市介護保険認定審査委員 身体障害者福祉法第15条第1項による指定医師	内科、消化器内科 全般	胆道・膵疾患検査・治療
薬剤師	水本 友宏	感染制御認定薬剤師、 抗菌化学療法認定薬剤師		

薬剤師 (専任)	福田 良子	救命認定薬剤師 抗菌化学療法認定薬剤師		
副看護師長 (専従)	森 誠 司	CNIC: Certified Nurse Infection Control 感染管理認定看護師		
検査科主任 (専任)	福田 修	認定臨床微生物検査技師		
経営企画 室 長	水野 実			
事務	諸木 真知			

□ 診療(業務)内容

平成9年4月に院内感染対策チームが (ICT) 設立し、平成22年4月にはICTを核とする感染制御部が発足しました。そのモットーは院内の感染管理と職員の健康管理を通じて、患者さんが安心して診療を受けられる環境を提供することを目標としています。

さらにその使命として医師、看護師、リンクナース、薬剤師、臨床検査技師、事務など多くの職員がそれぞれに得意とする分野を分担し、責任をもってこれを行っています。実務はICTリーダーを中心に週に1回ICTミーティングを行い、さらに週に1回定期的に院内ICTラウンドを実施しています。また日常の感染対策に関する相談に関しても随時対応しています。

活動例)

- ①インフルエンザ、感染性胃腸炎、結核などの院内感染対策業務
- ②手術部位感染、中心静脈カテーテル関連血流感染などのサーベイランス業務
- ③針刺し・切創事故対応業務
- ④職員対象の各種ワクチン接種業務
- ⑤抗菌薬適正使用推進業務
- ⑥その他、院内感染対策に必要とされる業務

この活動内容は病院長直轄の「院内感染対策委員会」(月1回)と平成22年4月に発足した「抗菌薬の適正使用に関する小委員会」(月1回)にて報告・審議・決定がなされるシステムとなっています。

平成24年度には感染防止対策推進に関する診療報酬が改定され、これまで以上に感染対策チーム (ICT) の活動が求められるようになりました。平成26年度の改訂でも大きな変更点はなく継承されています。

* 感染防止対策加算2を算定する当院連携施設: 弘仁会大島病院 真和会京都大橋総合病院 NTT西日本 京都病院 国立病院機構南京都病院 淀さんせん会金井病院

* 感染防止対策加算1施設を算定している連携医療機関: 京都市立病院機構 京都市立病院

□ 地域医療連携・広報活動

院内感染対策講習会 第1回「針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露対策」 2016年6月23日、6月24

院内感染対策講習会 第2回「感染管理のdon't10箇条」 2016年12月2日

第1回感染防止対策地域連携カンファレンス 「細菌検査室がなくてもできる感染対策上重要な簡易検査とその特性」2016年6月3日

第2回感染防止対策地域連携カンファレンス 伏見桃山総合病院にてICTラウンド 2016年9月9日

第3回感染防止対策地域連携カンファレンス 大島病院にてICTラウンド 2016年11月4日

第4回感染防止対策地域連携カンファレンス 金井病院にてICTラウンド 2017年2月9日

感染防止対策地域連携加算相互評価: 京都市立病院 2016年11月24日・12月1日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
院内講習会	小田垣 孝雄「針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露対策～概説」2016年6月23日、24日
院内講習会	遠藤 文司「針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露対策～肝炎ウイルス・HIV」2016年6月23日、24日
院内講習会	森 誠司「針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露対策～院内感染報告」2016年6月23日、24日
地域連携カンファレンス	福田 修「細菌検査室がなくてもできる感染対策上重要な簡易検査とその特性」2015年6月3日
国際学会(オーストラリア)	Hata H: usefulness of oral and parenteral antibiotic prophylaxis in colorectal 16th Asia Pacific Congress of Clinical Microbiology & Infection 2016/12/2
国内学会(京都)	畑啓昭:NPWTの適応、気をつける点、文献エビデンス、世間の流れ等 陰圧閉鎖療法セミナー 2016/11/18
国内学会(沖縄)	畑 啓昭 坂井義治:パネルディスカッション1:手術部位感染の予防 術後感染予防抗菌薬の投与方法について 2016/11/24
国内学会(沖縄)	畑 啓昭:ランチョンセミナー2:SSIケアバンドルの最新知見-整形外科医と消化器外科医の立場から- SSIケアバンドルの最新知見-消化器外科医の立場から- 第59回日本感染症学会 中日本地方会学術集会 2016/11/25
国内学会(東京)	畑 啓昭:スポンサーシンポジウム2 CDCガイドライン/ドラフトからみたSSI予防バンドル SSI予防対策バンドル～消化器外科領域～ 第29回日本外科感染症学会総会 2016/11/30
国内学会(東京)	畑 啓昭:教育委員会企画プログラム プレゼンター「周術期感染対策にまつわるコスト」第29回日本外科感染症学会総会 2016/11/30
国内学会(栃木)	畑 啓昭:手術部位感染予防と院内感染対策～ガイドラインと実際に行っていること～ 栃木県立がんセンター Grand-Conference 2016/12/15
国内学会(神戸)	畑 啓昭:日本外科感染症学会合同シンポジウム ERAS: enhanced recovery after surgery—最近のSSI防止ガイドラインを踏まえて—ディスカッサント 第32回日本環境感染学会総会・学術集会 2017/2/24
国内学会(東京)	畑 啓昭:WHO SSI サーベイランスを読み解く 日本外科感染症学会特別セミナー「知って得する感染症」外科感染症のUp To Date 2017 in Tokyo 2017/3/25
国際学会(ウイーン)	Naoki Esaka, Bunji Endo, Yoshinori Mizumoto, Shinji Katsushima, Nobuaki Shime: Predictors for Detection of Difficult-to-Treat Bacteria in Biliary Tract Infection. United European Gastroenterology Week (UEGW) 2016. 2016年10月
国内学会(神戸)	遠藤文司, 江坂直樹, 福田良子, 水本知宏, 志馬伸朗:急性胆管炎・胆嚢炎に対する経験的抗菌薬の適切な選択に寄与する因子の検討 第64回日本化学療法学会総会 2016年06月
国内学会	福田良子:ポスター「ICTのカルテラウンドによる抗菌薬適正使用への取り組み—対象抗菌薬をSBT/ABPCまで拡大して—」 第32回日本環境感染学会
国内学会(東京)	遠藤文司1, 中野重治1, 下釜翼1, 熊谷健1, 江坂直樹1, 太田義之1, 岩本諭1, 笠原勝宏1, 米田俊貴1, 水本吉則1, 勝島慎二1:胆道感染症に対する初期経験的抗菌薬の適切な選択に寄与する因子の検討 Japan Digestive Disease Week (DDW) 2015 (日本消化器病学会) 2015/10/1
研究会(京都)	遠藤文司:胆道感染症に対する抗菌薬治療 第3回京阪奈胆膵フォーラム 2016/1/1
国内学会(沖縄)	福田修, 中村美咲, 伊藤千慧, 溝上泰司, 河合健, 住田善之, 益田喜信, 藤森洋一 「Clostridium difficile迅速検査キット培養の組み合わせの有用性に関する検討」 第70回国立病院総合医学会 2016年11月12日
国内学会(熊本)	森 誠司 「入院患者におけるCRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)検出状況と感染対策上の課題」第14回国立病院看護研究学会学術集会 2017年12月17日

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	編集者等	出版社	発行年 および月
畑啓昭 志馬伸朗	術後肺合併症のリスク評価	日本外科感染症学会雑誌	13	3	201-208			2016.6
畑 啓昭	結腸・直腸手術	術後ケアとドレーン管理のすべて			270-273		照林社	2016.7
畑 啓昭	【感染症診療-その常識は正しいか?-】 脾損傷患者に対して肺炎球菌ワクチンを接種する?	救急・集中治療	28	7.8	543-548			2016.7
畑 啓昭	感染症フォーカス 手術部位感染の予防	INFECTION FRONT	38		4-7			2016.10
Goto S, Hasegawa S, Hata H, Yamaguchi T, Hida K, Nishitai R, Yamanokuchi S, Nomura A, Yamanaka T, Sakai Y.	Differences in surgical site infection between laparoscopic colon and rectal surgeries: sub-analysis of a multicenter randomized controlled trial (Japan-Multinational Trial Organization PREV-07-01).	Int J Colorectal Dis.	31		1775-1784			2016.11

遠藤文司	【感染症診療-その常識は正しいか-】急性胆道感染症にSBT/CPZを投与する？ ～急性胆道感染症に対する抗菌薬治療～	救急・集中治療	28	7-8	630-634			2016
福田修,伊藤千慧,中村美咲,常松裕子,志馬伸朗	薬剤感受性検査の迅速診断	臨床微生物迅速診断研究会	27	1	1-7			2017.1